



私たちは神と共に働く者たちです ——21世紀型スキルとコンピテンシー——

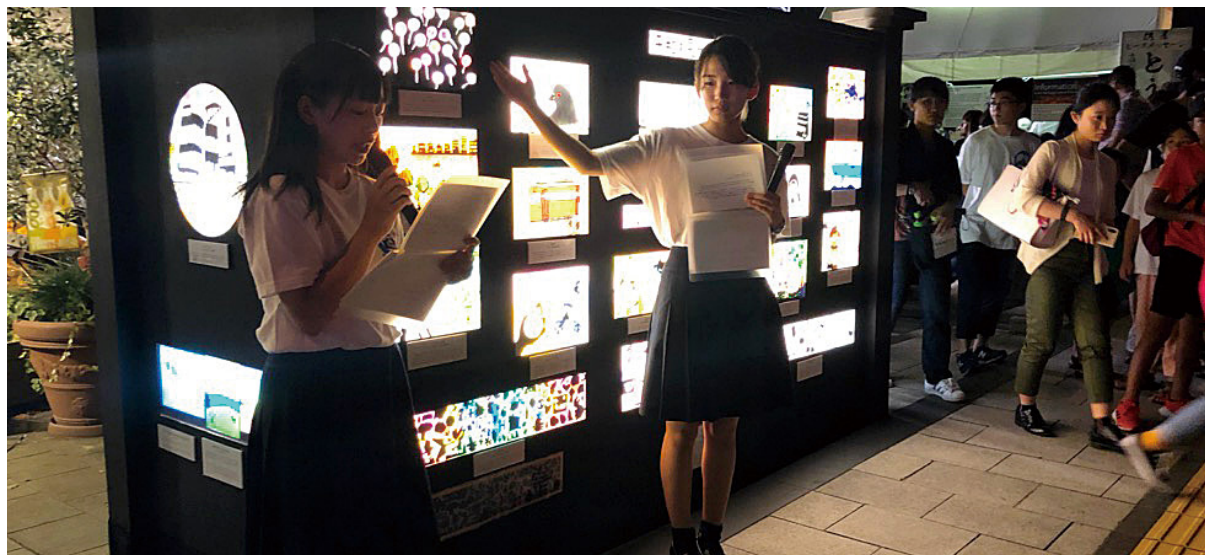
広島女学院ゲインズ幼稚園園長 高田 憲治

広島女学院につながる方々は『善きサマリヤ人』のお話(ルカによる福音書10:25-37)をご存知でしょう。盗賊に襲われた旅人を、当時ユダヤの社会で「地位」が高いとされていた祭司やレビ人が見ぬふりをしたのに対し、異邦人と呼ばれ差別されていたサマリヤ人が助けるというお話です。神に義とされ「永遠の命を受け継ぐ」条件は、その人の「知識」や「地位」ではなく、「実践」であるとする、隣人愛の一つの例えとして有名です。

昨年度の「幼稚園教育要領」を皮切りに2020年度・小学校、さらに2021年度・中学校、2022年度・高等学校と、新しい「学習指導要領」が順次施行されていきます。今回の改訂の柱は、育てたい資質・能力が「3つの柱」(①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力、人間性等)として明示され、幼児期から高等教育までカリキュラム・マネジメントされていくという点です。何を学ぶか(コンテンツ)ではなく、学びから何をなすか(コンピテンシー)が21世紀型スキルとして問われ、社会をよりよくするための教育実践を目標としています。その方向性自体は、建学の精神そのものが「コンピテンシーベース」のキリスト教主義の学校に寄り添うところです。しかし、性急な方向転換と結果重視の姿勢には多くの課題があります。例えば、教科化される道徳の適切な評価は可能なのか、P D C Aを回したからと言って皆が一樣に理想の人間像に接近するの否等々。「実践」に結び付く学びは、即座に評定可能なものではなく、自分の弱さに向き合いどう生きるか問い続けて歩む姿勢や、失敗と反省を繰り返しながら他者と共に生きようともがく生き様に現れてくるからです。

8月5・6日、元安橋の袂で今年も「小さな祈りの影絵展」に多くの人が足を止め、解説に耳を傾けてくださいました<https://kagepia.net/hiroshima.htm>。広島女学院の幼・中・高・大学生もこの活動に参加しています。2005年度に始まったこの展示は、その後学生たちのボランティアチーム・「影絵ユース」に引き継がれてきました。この野外展示を実際に運営していくには、作品の裏側に、多くの時間や労力を捧げる見えない人々の「実践」があります。平和への強い願いがなければ継続できないことです。尊い働きに感謝いたします。これも一つの神と共に働く姿です。

同じように、卒園(業)生、在園(校)生、在職者、退職者の一人一人が、社会の地位や評価と距離を置いたところ、目立たないところで、今日この時も、神と共に働く「実践」をなしておられることでしょう。幼稚園の砂場で、学校の教室や部活動で、ボランティアやアルバイト先で、職場や社会活動で、家庭や地域で、それぞれの置かれた場で。その小さな働きの一つ一つを神様は祝福してくださっています。様々な弱さをもっていても、神と共に働くことができる自分らしい方法を見つけることができるよう、広島女学院は応援し続けています。



『みんなにとっての平和』が今年度の共通テーマ。一つひとつの作品に込められた願いを解説する本学生徒

大学

University

広島女学院大学 開学70周年を迎えて

「ぶれない個」〜グローバル化を支える教養〜

1949(昭和24)年4月に、広島女学院大学が英米文学部を中心に開学され、本年70周年を迎えた。1950年には家事科・被服科が短期大学部家政科に設置され、広島県における唯一のキリスト教主義女子大学として発足した。

本学は、時代のニーズに応えつつ幾度かの改組を重ね、女性の一生を視野に入れた「人格教育・ぶれない個・私」をまず育成し、その上に国際社会で活躍できる人物の育成に力を入れてきた。すなわち人間への理解を深める「人文学部」と女性の生涯の支えとなる資格取得を支援する「人間生活学部」によって「学問」と「実践」の両方を深く、そして濃く学び、その上で国際交流が可能な英語教育を強化してきた。まさに「真の国際人」を育成する教育に取り組んできた。

70周年を記念して、超御多忙な越智光夫広島大学学長、高井昌史紀伊國屋代表取締役会長兼社長と共に、「真の国際人とは」グローバル化を支える教養」と題して、来る11月4日に「講演とシンポジウム」をホテルグランヴィア広島で開催する。一人でも多くの方々にご参加いただきたいと願っている。(学長 湊晶子)

広島女学院大学 開学70周年・学院創立133周年記念
講演とシンポジウム





真の国際人とは
〜グローバル化を支える教養〜

2019年 11月4日 [月・振休] 13時30分～(13時開場)

会場 ホテルグランヴィア広島 4階 悠久の間
広島県広島市南区和野町1-5 TEL 082-262-1111(代)

入場無料 申込不要

広島女学院大学
HOSHIMA JOGARUIN UNIVERSITY

【問い合わせ先】
広島女学院大学 総務課 TEL 082-229-0395(代) 〒732-0033 広島県広島市南区中田4-13-1

Making the most of English

opportunities in 国際英語学科

国際英語学科では新設以来1年半の間に、私たちのプログラムの特徴である、1. 少人数クラスと個別ガイダンス、2. 充実した海外研修の機会、3. キャリア・スタディプログラムがお互いに相乗効果を生み、学生たちにとって真に価値のある大学での学びを提供することができました。個別ガイダンスは、初年次において個々の学生のニーズに対応した指導が実現しました。また、1年次に実施された2つの海外研修プログラムに参加した学生の満足度は極めて高いものでした。GSEコースの学生たちはベトナムで、そして31名の英語文化コースの学生たちはアメリカ合衆国のカリフォルニアで実りのある研修を経験しました。国際英語学科では、2年次にはイギリスやアメリカでのより長期的な研修や交換留学など、さらに魅力的なプログラムに参加する機会があります。



また、キャリア・スタディ・プログラムでは、インターンシップへの参加を通し、将来の進路にさらに直結する取り組みが用意されています。国際英語学科は今後も学生たちがこのような学びの機会を最大限に活用することを大いに期待しています。

(国際英語学科長 John D. Herbert)

社会の一員としての自己意識を高める

— 日本文化学科の挑戦 —

本学科の特色ある授業の一つに「キャリア・スタディ・プログラム」(以後、CSJDと略)があります。この授業は一年次後期から二年次通年で行なうもので、社会に目を向け、「働く」ことに関して具体的なイメージを作り上げ、自らの社会における役割について考えることを目的としています。学科で育みたい「発信力」「社会参画力」「コミュニケーション力」の全てを向上させることも見据えています。



現二年生はCSJDの三分の二が終わったところで、一年次においては、ワークルルを学んだ上で、一人ひとりが考える働き方改革について発表を行ないました。二年次においてはスーパのフレスタと連携し問題解決型の授業に取り組みました。具体的なテーマはフレスタにおけるキャッシュレス化推進の方法についての提案というものでした。実際、グループごとに各店舗を調査したり、電子マネーの長所短所を分析したりした上で、発表を行ないました。最後にはフレスタで勤務されている方から、現場の視点に基づいた助言をいただき、現在、企画を考える際には、ターゲットのライフスタイルを意識しながら内容を絞り込むことが重要というお話を聴かせていただきました。このような視点は教室の中だけでは得られないものであり、学生たち皆、大変有意義な体験をしたようです。このように、一人ひとりが社会の一員として、学科の学びを活かすつづつのようなことができるのかを問いかけ、実践として様々なことに挑戦しています。学期ごとに成長していく学生たちに頼もしさを感じ、学科教員一同、ますますのサポートの充実化を改めて意識する日々です。

(日本文化学科長 足立直子)

「きれいな海づくり

ワーキンググループ」の活動

生活デザイン学科の新たな課外活動の一つを紹介したい。私たちの身近にある「海」に目を向け、海の環境改善や海の幸の利用、島のブランド化などについて、地域の人々や行政・企業の人々と結びついて活動することを目指している。

5月、呉市音戸町の地域活動「海の漂流ゴミの回収活動」に参加した。マイクロプラスチックの脅威から子どもたちを守ることをテーマに、指導者のもと小学生と高校生と協力し、海上で漂流ゴミを回収する。ライフジャケットを身につけ、カヌー部の高校生に助けをもらい、慣れないカヤックに乗り、海に漕ぎだした。この様子はTV放映された。

6月、同海岸にて、呉市音戸町「里海保全プロジェクト」『未来につながる豊かな海づくり』に学生ボランティアとして、地域の人々・子どもたち・地元高校生と共に参加した。広島島の海の生き物や自然の環境、そこで起こっている問題について学びイベントである。施設見学、養殖魚の餌やり、稚魚の放流を行い、海岸では清掃活動を行った。多くの参加者により短時間できれいにすることができた。海は様々なことを教え、与えてくれる。海の大切さを感じる体験となった。今年度は、学生企画の催しも予定されている。

この様に現場で活動し、考え、多くの人と出会い、意見交換することは、学びに深みを与えてくれる。

(生活デザイン学科長

細田みぎわ)



海岸での清掃活動

女性の一生を支える教育の充実

管理栄養学科の昨年の管理栄養士国家試験合格率は97.1%であり、6年連続97%以上という堅実な合格率が続いています。国家試験合格率は大学教育の実力の指標となります。しかし、合格率や資格取得のみにとらわれることなく、卒業生には「食」で困らている方々を支援できる専門家であって欲しいと願っています。

2018年度の大学改革に伴い、管理栄養学科の新たな方針として女性の一生を支える教育の充実に努力しています。具体的には社会人特別入試制度を活用して、社会で働かされていた女性や子育てが落ち着いて自分自身が学び直したいと思う女性を積極的に入学者として受け入れようとしています。管理栄養学科で学び直すことで、自分自身や家族の健康維持、さらに、食と健康の専門家として地域の人々に食を通して支援することもできます。管理栄養学科では、年齢に関係なく、食と健康の専門家を育てており、今後女性の一生を支える教育の充実に努力していきたいと考えています。

(管理栄養学科長 石長孝二郎)



教員採用試験96.6%合格

— 小学校教育実践研究会 —

児童教育学科への改組前から活動を続ける「小学校教育実践研究会」。今まで、87名の研究会会員中84名が広島県・市の小学校教員採用試験に合格しており、合格率は96.6%です。小学校で教鞭をとってきた経験豊富な教員が複数で指導をしている成果でもありますが、学生の主体的な活動の賜物でもあります。学生は、学科の教員が顧問を務めている、ボランティア活動等を行う



卒業生も毎年参加する研究会「総会」の様子

「子どもチャレンジラボ」に参加。その中で、算数が苦手な児童に1対1で学習の支援を行う、「学習力アップ」や、「小学校で遊ぼう」等に一年生から積極的に参加し、実践力を高めています。児童教育学科になり、現在二期生まで入学していますが、小学校の教員を目指す学生が二倍に増えています。カリキュラムには、学生の進路希望を叶えるため、より実践力を向上させ専門性を深められるよう、「学校インターンシップ」「地域協働教育セミナー」「学級づくりの理論と実践」等の科目が設定してあります。学科では小学校教員希望の学生のみならず、一人一人の学生の進路実現への支援を行っていきます。

(児童教育学科長 戸田浩暢)

「アメリカのキリスト教大学学長」の訪問を受けて



キリスト教学校教育同盟第107回定時総会が5月31日・6月1日に名古屋学院大学で開催され、本学から中川理事長、湊学長、澤村大学宗教委員長が出席した。この総会に合わせてアメリカのキリスト教学校学長をはじめ代表者が来日され、総会後関西学院大学と広島女学院大学を訪問された。

本学では6月4日に6名の学長と7名の大学関係者の訪問を受け、会議室において有益なディスカッションの時間を持つことができた(写真)。中川理事長、湊学長、村上副学長、波多野大学院言語文化研究科長、渡邊人文学部長、宇根学生課長が出席し、湊学長が司会及び議事進行を務めた。昼食時にはGSEの学生も加わり、和やかな文化交流の時間が持てたことは感謝である。

アメリカでも地方のミッションスクールは定員確保に苦労しているという現状を知り、今後学生交換など協力体制をより強化することで意見の一致を見た。

(副学長 村上和保)

2019年度春季宗教強調週間

2019年5月20日(月)～24日(金)

「女性として『生きる』」と、「生かす」

今季宗教強調週間は、特別講師として院長学長である湊晶子先生をお迎えした。21日(火)「キリスト教の時間」では、『女子大学で学んでこそ!』と題して、ルカによる福音書13章20・21節の神の国のたとえから説き起こし、女性として学ぶこと、生きることの祝福についてご講演くださった。誰しもに与えられた等量のパン粉(「時間」をどのようにパン(「人生」として焼き上げるかは自分次第だが、「愛」と「平和」というパン種を入れることで全体が膨らみを増し、やがて世界に良い影響をもたらす得ることが説かれた。「どの大学に入るかの入口が大事なのではなく、出口が大事だ」という湊先生のお言葉は、逆説的に「この大学で良かった」という思いを学生たちの内に呼び覚ました。

22日(水)は『女性として生涯いきいき生きるために』いま、あなたに伝えたいこと』と題して、ご講演をいただいた。キャリアとは狭義の職業キャリアのことだけを指すのではなく、金銭化されない労働を含む全生涯にわたって形成される「人生」そのものであるという定義を、先生ご自身の来し方に照らし合わせて語ってくださいました。講演は、学生、教職員ならびに学外からも同窓生を中心に多数の参加がある中、多様な聴衆の一人ひとり、「いま、自分に向かって語ってくださいました言葉」と感じたに違いない。講演後に恒例としている講師との懇談会は、今回特別に「同窓生の集い」と合流し、ヒノハラホール1階の貸し切り席が満員にひしめく中、なごやかかつ朗らかな、実りに満ちた交流のひとつとなった。

20日(月)「特別チャペル」での、YMCAフィリピン・ワークキャンプ報告、23日(木)「木曜日チャペル」での「ピーススタディツアー長崎」報告からは、学生たちが愛と平和のパン種をしっかりと内に宿し、育てていることが伺われた。

(大学宗教委員長 澤村雅史)

第53回原爆講座

8・6の意味するもの

7月2日(火)の「キリスト教の時間」は、本学大学院・言語文化研究科博士後期課程修士・松本滋恵さんにお話を伺った。3歳の時、爆心地から約3kmの江波の自宅に被爆。3日後、爆心地から500mの実家に向かった。一面焼け野原になった景色、電車の車内で黒焦げの遺体を見、焼け跡には母の兄夫婦や弟の遺骨もあった、と話された。高校卒業後、小学校の給食調理士として働きながら子育てする日々を送り、退職前、2001年に放送大学に入学。「生活と福祉」などの科目を学び、認定心理士資格を取得。また、原爆文学の講義に影響を受け、放送大学の修士課程に進学、詩人・原民喜、峠三吉を修士論文で書かれた。さらに、詩人・栗原貞子平和記念文庫のある本学・大学院に入学三年の学びを得て、原民喜、峠三吉の詩を社会性、思想性を時代背景から読み解く原爆詩解釈の修士論文も執筆された。「原爆から生かされている。その実相を伝えよう。」との思い溢れるお話しであった。

7月9日(火)は、アーティスト(画家)・有田大貴さんにご講演いただいた。アメリカの大学でグラフィックデザインを学び、卒業後、現代アートで有名な直島のホテルに就職、アートの魅力に取りつかれ、絵の制作を始めた。ホテル退職後、広島で初個展(横川装苑)を開催された。その後、アートの本場、ヨーロッパへ旅立ち、ベルリンで個展を目標に、キャンバスを壊す、焼くなどで、再構築した作品を制作。やがて、それが原爆により破壊された、「ヒロシマ」をテーマにした制作へと繋がりが、原爆投下後に降り出した黒い雨をモチーフに、そのもたらす白血病・癌などの被害を伝えた。帰国後、広島に届けられる折り鶴の灰を利用した作品に取組み、原爆による破壊から復興した歴史、生と死を繰り返す万物の普遍性を表現された。今年からは再利用した千羽鶴も作品に取入れ、平和への願いをアートとして世界に提示するため、絵画作品を制作されている。

(宗教センター事務課長 坂野康文)

中学・高校

Junior high school & High school

中1 学年合宿

4月末に中1は「グリーンピアせとうち」にて1泊2日の学年合宿を行いました。学校に入学し初めてのビッグイベントに生徒たちは朝からワクワクして落ち着かない様子でした。ホールにて開会礼拝をし、広島女学院の歴史について理解を深めました。学校を出発し合宿会場に向かう前に、比治山にあるゲインス先生のお墓にて墓前礼拝を行いました。そこで生徒たちはお祈りと献花をして、讃美歌294番を心を込めて歌いました。バスではレクリエーションで大いに盛り上がりました。

グリーンピアせとうちでの最初の行事は同級生インタビューでした。自身が考えて準備した質問をもとに同級生と一対一でインタビューをします。「他者がいるから自分が見える。」インタビューを通じて同級生のことを知り、知らなかった自分も見つけていこうという企画です。天候にも恵まれ、素晴らしい青空と瀬戸内海の美しい海と島々をバックに生徒たちは楽しそうに言葉を交わしていました。豪華な夕食の後はキャンドルサービス(夕礼拝)の時間でした。ろうそくの幻想的な火の下で心静かに礼拝の時間を過ごしました。

2日目もイベントが盛りだくさんでした。まず、音楽の時間に練習を重ねた各クラスの「校歌・讃美歌発表会」から始まり、「クラス対抗のドッジボール大会」、最後は楽しみにしていた「BBQ大会」でした。2日間の合宿を生徒たちは最後まで元気にケガなく楽しく過ごすことができました。この合宿の経験を糧に、楽しく充実した学校生活を送ってくれることを願っています。

(中1学年会合宿係 村尾優太)

高1 進路合宿

4月24日(水)から25日(木)にかけて、グリーンピアせとうちで進路合宿を行いました。合宿の目的は「自分をしっかり見つめ、将来について考える」です。高校生活のスタートにあたり、進路実現のために自分はどうのように学校生活を送るかを、2日間の活動を通して考えました。

開会礼拝の後、進路指導部長の久保先生の講演で、高校生活や授業、日々の学習に必要な心構えについての話を聞きました。昼食後は各クラスに分かれ、春休みに書いた自分史や保護者の方からの手紙を読んで、自分自身を見つめることをテーマにHR活動を行いました。夕食後は、翌日にクラスで発表する「自分を語る」の原稿作りをして1日目を終えました。

2日目は、原稿を基に各クラスで一人ずつ発表を行いました。一人ひとりが自分自身を語り、友人の話に真剣に耳を傾け、自分の将来をどのように築いていくか、高校生としてどう日々を過ごすかなど、じっくりと考えることができました。

今年の高1の学年目標である、『Renew・Reflect・Respect!』を実践することのできた合宿となりました。合宿での経験を糧に、これからも充実した高校生活を送ってくれることを願っています。

(高1学年主任 野中理恵)



一致団結チャレンジキャンプ

7月23日から2泊3日で、私たち中学2年生は、高校1・2年生のリーダーの先輩方とともに、恐羅漢でのチャレンジキャンプに行ってきました。キャンプでは、恐羅漢登山やキャンプファイヤー、飯盒炊飯、テントでの生活などめったに味わえないことがたくさんありました。また、外での生活なので、天候に左右されやすく、予定の変更が多かったです。初日は雨が降っていたため、歩く距離が予定の半分になりました。2日目の登山では、熊のような声が出たため、登ってきた道を下山しました。3日目も雨の影響が残っていたため、別のルート歩きをしました。登山では互いに手を取りあったり、飯盒炊飯では各自ですべき仕事を見つけたりと周りの人のことを考えて動くこともできました。そのおかげで、やるべきことが時間通りにでき、体調を崩す人も少なく、無事に帰ってくることができました。チャレンジキャンプを通し、今まであまりしやべらなかつた人と仲良くなれたほか、仲が良かった人とはさらに仲良くなれました。また、同じ班の人の意外な一面や長所を知ることができてよかったです。チャレンジキャンプで得たことを忘れずにこれからの生活に活かしていきたいです。



(中学2年 大星沙代・松島実佑
中2学年主任 中村紀子)

平和を祈る週(6/17~6/22)



特別礼拝講師に、元外交官で作家の佐藤優氏をお招きしました。佐藤氏は、同志社大学神学部大学院神学研究科修了後、外務省に入省し、主任分析官として対ロシア外交の最前線で活動。現在は、職業作家として活躍されています。同志社大学神学部客員教授、日本キリスト教団加茂教会員。

中学生には、「真理は私たちが自由にする」(ヨハネによる福音書8章 32節)より、「私たちが勉強するのは何のためか」と問いかけられました。佐藤さんのお母さんは沖縄県久米島出身で、14歳で沖縄戦に学徒隊として従軍し、「生き地獄」から生還。お父さんは東京大空襲を体験。戦争中は国もマスコミもウソをついたり、一つの方向に流されたりして、多くの命が失われた。「勉強するのは真実を見抜く力をつけるためであり、命に関わることなのだ」と伝えて下さいました。

高校生には、「受けるよりは与える方が幸いである」(使徒言行録20章35節)より、「与える人になろう」と呼びかけられました。外交官としてソ連崩壊に立ち会った時、ある政府高官が、暴動鎮圧後、「神は私のことを赦して下さるだろうか?」と佐藤さんに問い、「今日流された血に対して私は一生、責任を負わねばならない」と、その後、政治から身を引き、未来を担う若者の育成に私財を投じて尽力していったそうです。「本当のエリートとは与えることができる人。今の日本にも皆さんと同じ年頃で、生まれた境遇が少し違うために苦しんでいる人たちが大勢いる。人に与えられるためには、まず受けなくてはならない。先生や親、神様から与えら

れたものを、相手にではなく、将来、隣人へ、社会へと返していかなければならない。」と語られました。週間中、中学礼拝委員会が「つるに乗って」ともこの冒険」を上映、全校生徒による8・6平和祈念式で捧げる千羽鶴の作成などが行われました。

高校宗教委員会は、「昼のつどい」として、海外研修の引率教員による「教員目線のグローバル教育鼎談」、「金信先生による絵本読みかせ&紙芝居」、「戦前戦後写真のカラー化プレゼン」を企画実行しました。

なお、週の後半、本校を会場に全国聖書科研究集会が開催され、70数名の先生方が本校の授業・礼拝・平和教育などを見学され、生徒が主体的に動く姿に、高い評価をいただきました。(宗教教育委員会 刀祢館美也子)

8・6平和記念礼拝(被爆74周年)

8月6日(火)午後1時30分から、ゲインズホールで、中一、中三、高二の生徒が出席し、多くの来訪者の方々と共に、「8・6平和記念礼拝」を捧げました。

講師の前田瑞枝さんは、国民小学校3年生の時に、爆心地から4.1kmの仁保町青崎で被爆。戦後、女学院に入学し、友だちと共に学び、お弁当を食べられる幸せをつくづく感じたといいます。被爆体験を長く語りな

いできたのは、被爆者といってもけがもなく語る資格はないと思つたのと、戦争や原爆の悲惨さは経験したことのない人には、言葉で伝えてもわからないと思つていたからだそうです。語り始めたきっかけは、幼い孫が「きこの雲を私も見たかった」と言うのを聞いて、知らないことこの怖さを感じ、孫が女学院中2の時に、身近な被爆体験を聴くという宿題で話したこと。また、園長をしている幼稚園の卒園児が、平和記念式典の子ども代表の作文の中で「同じような体験はできなくでも、聞くことで共感はず



きる」と語ってくれたことだったそうです。最後に、「平和は私たちがつくり出すもの、皆さん一人一人は神様から大きな賜物をいただいている。その賜物を神様の望まれる平和な世界の実現のために使つて下さい」と語って下さいました。

礼拝の中で、犠牲となった350余名の女学院の生徒・教職員と全ての原爆犠牲者を悼み、黙祷を捧げました。(宗教教育委員会 刀祢館美也子)

中高YWCA全国カンファレンス

8月8~10日、広島で、中高YWCA全国カンファレンスが開催されました。全国22のキリスト教学校YWCA部と、中国・韓国からの参加者を加えて、180名近くが集い、「世界につながるいのちのチカラひろしまを考える旅」というテーマで、学びと交流の時を持ちました。

2日目のフィールドワークの一つ、「中高生が伝えるヒロシマ」では、韓国の高校生を含む約40名に対して、本校YWCA部と署名実行委員会が広島女学院の被爆体験と平和活動について伝え、希望者は核廃絶署名活動の体験を共にしました。



国同士が難しい関係にある時こそ、このように若い世代が、互いの違いを越えて出会い、体験を共有し、理解し合う大切さを確認させられる貴重な機会となりました。(YWCA部顧問 刀祢館美也子)

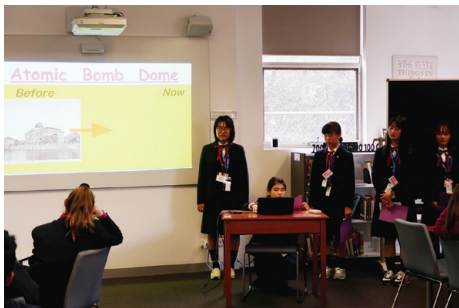
夏期海外生活体験学習

7月23日から8月6日まで、中3生徒15名は、オーストラリア・メルボルン郊外に位置するキルビントングラマースクールでのホームステイ研修に参加しました。

到着した当初は英語しか通じない環境や生活習慣の違いに戸惑っていました。徐々に発言や質問をすすんでできるようになりました。また、日本語や数学、芸術など様々な授業に参加させていただき、グループやペアでの活動しながら現地の生徒達と交流しました。8月2日には、広島や平和に関するプレゼンテーションを行いました。生徒達は準備してきたパワーポイントをみせながら、広島女学院の紹介や、原爆や広島復興、女学院での平和活動、を英語で説明しました。キルビントン生はとても真剣に聞いてくださいました。その後、ともに輪になって祈りを捧げ、折鶴を折りました。

2週間というわずかな時間でしたが、生徒達は英語力の向上もさることながら、自らすすんで行動することの大切さ、異文化におけるコミュニケーションの取り方など、研修を通してたくさん学びました。

(グローバル教育推進部 増原 康人)



グローバル教育推進部より

夏休みの活動



毎年夏休みに行っているPeace Forumでは、ハワイをはじめ、沖縄・東京・大阪・地元広島から100名以上の高校生が集まりました。今年の議題はSDGsです。参加者はSDGsのターゲットをそれぞれ分析し、結果とアクションプランを報告し合いました。提言するだけにとどまらず、これから行動に移すことが目的です。今世界が抱えている課題が、立体的に理解できたと思います。

今年も酷暑の中でしたが、校外での碑めぐり案内・核兵器廃絶署名活動を実施しました。碑めぐりには約80名の生徒が参加し、国内外の10校・団体に平和公園を案内しました。今年はEPで碑めぐりを準備しました。1学期を通してつくっただけあり、充分な案内ができたと思います。中学生にとっては、高校生の先輩が行う碑の説明が、非常に参考になったようです。署名実行委員会による核兵器廃絶を求める署名活動にも、国内外から多くの生徒が参加しました。平和公園周辺を通りかかる方々に、日本語・英語で自分から積極的に話しかける姿に感心しきりでした。

その他、短期留学プログラムに参加した生徒も多かったです。本校主催の中3オーストラリア研修はもちろん、外部の留学プログラムに応募して選ばれた生徒もたくさんいます。広島県青少年交流団四川省派遣事業、広島市・大邱広域市青少年交流事業などです。生徒たちが広い視野を持ち、果敢に挑戦する気持ちを持っていてと思います。これからの活躍が楽しみです。

(グローバル教育推進部部長 安宅弘展)

中高文化祭のご案内

11月3日(日・祝)

(一般公開)9時15分〜15時30分

今年度の文化祭は、「今進(imagine:いまじ)」をテーマとして開催します。生徒が積極的に学校生活を楽しんでいる様子を、来校された方に見ていただきたいと思えます。現在、その楽しさを実現するために、各部・HRで力を合わせて準備を進めています。ぜひ、来場ください。お待ちしております。

(高校生生徒会顧問)



ポスター / 高校1年 藤澤ひより



パンフレット / 高校1年 小川莉子

女学院

クリスマスのご案内

◎日時 / 12月20日(金)

18時00分〜19時30分

◎場所 / 中高ゲインズホール

◎内容 / クリスマス礼拝(一般公開)

※今年度は音楽中心

在校生・保護者・卒業生・本校志望者とその保護者の方・一般市民の方々・どなたでもご参加いただける公開クリスマス礼拝です。クリスマスメッセー、パイプオルガン、合唱(高校音楽部、音楽選択生徒有志)、演奏(吹奏楽部・オーケストラグループ)、ハンドベル(中学YWCA部)など、共に聖書を読み、讃美歌を歌い、クリスマスをお祝いいたします。入場は無料ですが、席上で献金(国内外の福祉施設やNGOなどに寄付)へのご協力をお願いしています。

(宗教教育委員会)

幼稚園

Kindergarten

大切な歩み

いよいよ10月からスタートした幼児教育無償化。新しい制度導入により不安を感じる点もあるかと思いますが、幼稚園が大切にしてきたもの、これからも守っていくべきこと、変えていく事の見極めをしっかりと行うことをお約束して、今後安心して園生活を共につくりだしていくことができますように多方面に渡る皆様のご協力を切に願うものです。

一学期の姿を振り返った時、年間を通して最も変化の大きい新年度及び新学期。新しい環境に慣れること、人間関係の中で生まれる喜びもあれば、苦労や衝突もあったことでしょう。トンネルの中にいる時は先が見えない事もあります。子ども自らが育とうとする力に教え導かれる中で、そばに寄り添う我々大人たちは信じて時を待つことにエネルギーを注ぐことができればと思っております。貴重なこの時を共に心動かし大切に歩ませたいだけの園であり続けたいと思っております。

(幼稚園主事 古重歌織)

花の日

幼稚園には、おかあさんに花束を作る子どもがいたり花の図鑑を作ろうと色鉛筆と画用紙を持って園庭の花を見に行く子どもがいたりします。子どもたちは、日々の生活の中で小さく咲いている花にも心を向けているのだと感じます。花の日には、花を通して改めて周りへの感謝の気持ちや生きているものへの思いやりを、友だちや先生と分かち合いました。花を見る子どもの顔は、どれも笑顔であふれていました。

(幼稚園 橋本佳南)



木陰でゆったりお砂遊び。今年もぶどうがたくさんできたよ



きれいなお花だね!いい匂いがするかな?

ファミリーデー

9月は敬老会スペシャル。祖父母の方々もたくさん参加してくださいました。子どもたちに手を引かれ、けん玉やコマ回しを楽しんだり、ままごとではお客さんになってご馳走のおもてなしに笑顔が溢れ、園庭やぼうけんの森でもゆたらかな時を過ごしました。今年も、保護者有志が育て作ってくださったシソジュースをみんなで頂くこともでき、夏の疲れも吹き飛ばす美味しさと好評でした。「かみさま、おじいちゃんおばあちゃんをくださってありがとうございます。」

(幼稚園 久保木裕子)

平和礼拝

梅雨明けを待たずに迎えた7月、お泊り会に参加した年長組の子どもたちは、みんな平和について考える時を持ちました。平和礼拝の中で語られる園長先生のお話を通して、被爆された方々に思いを馳せると共に、武器の恐ろしさを痛感したようでした。その後は、平和を願って一人一羽ずつ折り鶴を折りましたが、難しいようで苦戦する子どもたちも沢山いました。「できない」と声を出して助けを求めると、近くにいた友だちが気持ち、自然と手を差し伸べてくれたりと、平和な光景が広がる保育室でした。子どもたちは、身近なところから、そして世界へと平和を広げていってくださるようになってほしいです。

(幼稚園 垣内幸穂)



校 勢 概 要

(2019.5.1現在)

■専任教職員数

(単位:人)

種 別	性 別	大 学				中 高			幼 稚 園	法 人	計
		中 学	高 校	計	中 学	高 校	計				
教員計	男	29	12	15	27	3	0	59			
	女	28	22	16	38	9	0	75			
	計	57	34	31	65	12	0	134			
職員計	男	15	0	1	1	0	3	19			
	女	43	3	2	5	0	4	44			
	計	58	3	3	6	0	7	71			

■学生・生徒・園児在籍数

(単位:人)

校部科	学 年	学 年				小 計	計
		1	2	3	4		
言語文化 研究科 博士課程	日本語 文化専攻	1	2			3	4
	英米言語 文化専攻	0	1			1	
人間生活学 研究科 修士課程	生活文化学 専攻	0	1			1	2
	生活科学 専攻	1	0			1	
大学人文学部	国際英語 学科	61	80	-	-	141	235
	日本文化 学科	49	45	-	-	94	
大学国際教養学部	国際教養 学科	-	-	105	114	219	219
大学人間 生活学部	生活デザイン 学科	74	91	-	-	269	877
	生活デザイン・ 建築学科	-	-	49	55		
	管理栄養 学科	65	84	66	81	296	
	児童教育 学科	78	81	-	-	312	
	幼児教育 心理学科	-	-	74	79		
大学文学部	日本語 日本文学科				1	1	1
高等学校		200	238	187			625
中学校		221	204	203			628
幼稚園	3年保育	62	2年保育	75	1年保育	70	207
計		812	902	754	330		2,798

★財産目録

(平成31年3月31日)

一、基本財産		8,714,094,261円			
1. 土地	大学校地	202,404.33㎡ 581,008,581円	2. 建物	幼稚園建物	1,592.61㎡ 172,717,227円
	高等学校校地	10,716.12㎡ 336,684,120円		法人建物	728.86㎡ 38,369,817円
	中学校校地	13,002.00㎡ 195,030,000円		計	60,802.09㎡ 5,643,904,795円
	中高寄宿舎跡地	852.89㎡ 8,528,900円	3. 構築物	245点	205,051,107円
	幼稚園校地	3,328.25㎡ 3,507,070円		4. 教具・校具・備品	24,402点 435,518,912円
	校外土地	524.00㎡ 262,000円		5. 図 書	194,993冊 1,302,762,531円
	計	230,895.59㎡ 1,125,020,671円	6. 車 輛	6台 1,836,245円	
二、運用財産		2,224,431,025円			
2. 建物	大学建物	39,491.48㎡ 3,525,006,184円	三、負 債	3,128,340,853円	
	高等学校建物	11,093.55㎡ 1,340,885,184円			
	中学校建物	7,895.59㎡ 566,926,383円		四、正味財産	

○2018年度財務三表

★資金収支計算書

(単位:円)

科 目		金 額
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,281,012,860
	手数料収入	41,296,720
	寄付金収入	68,060,235
	補助金収入	597,187,922
	資産売却収入	32,144,000
	付随事業・収益事業収入	39,119,920
	受取利息・配当金収入	1,478,037
	雑収入	227,094,060
	借入金等収入	0
	前受金収入	341,508,000
	その他の収入	225,289,801
	資金収入調整勘定	△ 422,423,213
	前年度繰越支払資金	1,160,337,404
	収入の部合計	4,592,105,746
支出の部	人件費支出	2,008,074,731
	教育研究経費支出	594,689,451
	管理経費支出	258,798,204
	借入金等利息支出	10,419,760
	借入金等返済支出	123,880,000
	施設関係支出	213,276,000
	設備関係支出	162,856,095
	資産運用支出	50,289,000
	その他の支出	335,568,116
	資金支出調整勘定	△ 217,216,539
	翌年度繰越支払金	1,051,470,928
支出の部合計	4,592,105,746	
支払資金の増減額	△ 108,866,476	

★事業活動収支計算書

(単位:円)

科 目		金 額	
事業活動 活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	2,281,012,860
		手数料	41,296,720
		寄付金	68,054,261
		経常費等補助金	592,933,922
		付随事業収入	39,119,920
		雑収入	232,538,114
		教育活動収入計	3,254,955,797
		教育活動外収入	1,478,037
		特別収入計	21,673,647
		収入の部合計	3,278,107,481
支出の部	支出の部	人件費	1,999,519,780
		教育研究経費	1,050,647,215
		管理経費	267,090,491
		教育活動支出計	3,317,257,486
		教育活動外支出	10,419,760
特別支出計	3,678,375		
支出の部合計	3,331,355,621		
基本金繰入前当年度収支差額		△ 53,248,140	
基本金組入額合計		△ 302,261,328	
当年度収支差額		△ 355,509,468	
前年度繰越収支差額		△ 10,141,701,367	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△ 10,497,210,835	

★貸借対照表

(単位:円)

科 目		金 額
資産の部	固定資産	9,809,908,014
	有形固定資産	8,714,094,261
	その他の固定資産	1,095,813,753
	流動資産	1,128,617,272
	資産の部合計	10,938,525,286
負債の部	固定負債	2,429,619,120
	流動負債	698,721,733
	負債の部合計	3,128,340,853
純資産の部	基本金	18,307,395,268
	翌年度繰越収支差額	△ 10,497,210,835
	純資産の部合計	7,810,184,433
負債及び純資産の部合計		10,938,525,286

事務局

Secretariat

会議報告

第172回理事会

2019年4月25日14時から開催。

【審議事項】

各種基金の2018年度決算報告及び2019年度予算案について、承認。

【報告事項】

学事報告、退職金と慰労金の支給期末・勤勉手当の臨時的減額措置の取り扱い、理事長の報酬、管理者候補選考委員選出要領の改正等。

第173回理事会

2019年5月24日14時から開催。

【審議事項】

2018年度事業報告案、2018年度決算、2019年度内部監査計画について、承認。次に、維持会問題民事訴訟について、判決の言い渡しに対し控訴は行わないことを決定。

【報告事項】

学事報告、2018年度監事監査報告及び2019年度監事監査計画、2018年度内部監査報告、次期学長候補選考委員等。

5月定期評議員会

2019年5月29日14時から開催。

【選任事項】

子女卒業により欠員となっている在学生父母からの評議員2名を選任。任期は本日から3年間。

【諮問事項】

2018年度事業報告、2018年度決算について、承認。

【報告事項】

学事報告、2018年度監事監査報告、維持会問題民事訴訟についての概要及び状況の報告等。

告等。

第174回理事会

2019年6月28日14時から開催。

【審議事項】

大学院学則の変更について、承認。

【報告事項】

学事報告、財務分析による本学の財務状況等。

第175回理事会

2019年8月2日14時から開催。

【審議事項】

幼稚園園則の変更及び広島ゲインズ幼稚園預かり保育運営規程の改正について、承認。次に、学校法人広島女学院情報公開規程、特定個人情報報告等の適正な取扱いに関する基本方針、学校法人広島女学院個人番号及び特定個人情報取扱規程について、承認。

【報告事項】

学事報告、広島女学院大学学生懲戒規程の制定、退職金の支給等。

第176回理事会

2019年9月27日14時から開催。

【審議事項】

大学学則の変更について、承認。

【報告事項】

学事報告、広島女学院大学システム・アシスタント(SA)に関する規程の制定、広島女学院大学名誉教授称号授与規程の改正、私立大学ガバナンス・コード、私立学校法令和元年改正の概要、民法の一部改正に伴う学校法人への影響等。

2019年度ゲインズ学術奨励 受賞者

国際教養学部

国際教養学科/中原 舞苗

人間生活学部

生活デザイン・建築学科/坂井 麻友美

管理栄養学科/佐藤 楓子

幼児教育心理学科/田中 瑛美理

The 35th MESSIAH 2019.12.22

今年度も広島女学院クリスマスコンサート『メサイア』を開催いたします。ご家族お誘い合わせでご来場ください。

◎日時/2019年12月22日(日) 開場▶17:00 開演▶17:30

◎会場/中学・高等学校ゲインズホール

お問い合わせ/法人事務局総務課 TEL:082-228-0380



広瀬ハマコ 記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲインズ先生から直接薫陶をうけられました。その期待に答えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽力されました。1988年に召天。その後、私財は先生のご遺言により本学に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨励基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。一、本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨励金を支給する。二、留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。応募については次の通りです。みなさま奮ってご応募ください。

●応募条件/本学(高校、大学卒業)で国内外の大学院在学者
●選考/本人申請により3月9月に選考
●詳細お問い合わせは 法人事務局総務課へ
082-228-0387 (院長 湊暁子)

同窓会からのお知らせ

同窓会バザー

■日時/2019年11月3日(祝・日)

■場所/◎ゲインズホール前テント(バザー) ◎同窓会館(Café アイリス)

広島女学院大学あやめ祭 同窓会バザー初出店

■日時/2019年11月16日(土)

お問い合わせ 同窓会事務局▶TEL・FAX/082-221-1059

2019年度保護者会役員

大学協力会 (敬称略・順不同)
会長 吉本美紀
副会長 中島久美
理事 長田ひかり 折本美貴
中倉恵子 明珍由美子
中原友美 福本利江
監事 栗栖美智子 三王良子
中高PTA
会長 武田真吾
副会長 山尾明子 細川祥子
道佛一郎 近久和彦
坂井大輔
監事 櫻井克政 藤井宏章
顧問 深田洋介 大川公治
幼園みざわ会
会長 平田かおり
副会長 山崎久美子
会計 クラウス三千代 深川久美子

教職員動静

4月1日〜9月31日受付分

結婚
大橋隆広 (大学人間生活学部児童教育学科准教授) 2019.4.15
渡邊真以 (大学実験実習助手) 2019.5.1
誕生
愛香(あいか)ちゃん 杉田と改姓 2019.5.1
(内海香苗大学事務局庶務課兼総合研究所事務職員(長女))
紬乃(つむの)ちゃん (西本杏奈学部事務室 実験実習助手(長女)) 2019.8.9
二葉(ふたば)くん (塚野路哉大学人間生活学部生活デザイン学科特任准教授(次男)) 2019.8.28
召天
沖本美智子 様 (吉田絵理子 中高教諭(母堂様)) 2019.5.13
洲浜英子 様 (名誉教授) 2019.5.22
佐々木京子 様 (畑野喜信 中高教諭(岳母様)) 2019.5.29

世良浩二様 (常本奨悟 中高教諭(岳父様)) 2019.6.21
井上一清 様 (元監事) 2019.6.24
福田督様 (元監事) 2019.8.11
小野キヌ子 様 (小野育雄 人間生活学部生活デザイン学科教授(母堂様)) 2019.9.3

人事

選任
吉本美紀(2019.5.23〜2022.5.28)
武田真吾(2019.4.1〜2020.5.31)
評議員
中川賛 澤井貴介
退職
堀越大作 (大学事務局庶務課 法人事務局 総務課(施設・情報担当)職員) 2019.6.30付

日誌抄

4(1)月 新形式・礼拝、オリエンテーション
4(3)水 大学院大学入学式
4(3)水・4(木)・5(金) 現物監査
4(6)土 中学校入学礼拝
4(8)月 高等学校入学礼拝
4(11)木 幼稚園入園礼拝 経営会議
4(12)金 事務協議会
4(15)月・24(水)・25(木) 会計監査
4(25)火 理事会
5(7)火・8(水)・9(木) 会計監査
5(9)木 経営会議
5(11)土 中高体育大会
5(16)木・17(金) 会計監査
5(16)木 監事監査
5(18)土 事務協議会
5(20)月・21(火)・23(木)・24(金) 中高PTA総会
5(24)金 会計監査
5(25)土 理事会
大学協力総会

- 5.29(水) 評議員会
- 6.6(木) 事務協議会
- 6.13(木) 経営会議
- 6.20(木) 学院運営協議会
- 6.28(金) 理事会
- 7.4(木) 事務協議会
- 7.11(木) 経営会議
- 8.2(金) 理事会
- 8.6(火) 被爆74年平和祈念式
- 9.5(木) 事務協議会
- 9.12(木) 経営会議
- 9.19(木) 運営協議会
- 9.25(金) 理事会
- 10.1(火) 創立記念日

寄附

- 8月19日受付分まで(敬称略 順不同)
- VHSビデオシステム種別利用として
- 広島女学院ゲーンズ幼稚園みぎわ会 104,640円
- アイリスセンター維持費として
- 広島女学院同窓会 600,000円
- ガウン帽子フード保管料として
- 広島女学院大学協力会 280,422円
- 観桜会お祝いとして
- 増原宗司 5,000円
- 管理栄養学科のために
- 2018年度管理栄養学科卒業生一同 50,000円
- 寄贈図書として
- 原田佳子 後から来る人へ他3冊 神奈川大学
- 植民地近代性の国際比較 他1冊 安田女子大学 安田文芸叢書第3輯
- 広島市立大学 国際研究の多様性 宮内庁書陸部 九条家歴史記録5 湊晶子
- 聖書のことばが人生を拓く他2冊 立正大学文学部
- 文学における隣人へ 大塚信 村田茂樹画文集
- 国文学研究資料館 天皇陵と近代他2冊
- 広島市公文書館
- 成城大学 広島市被爆70年史
- 植西浩一 ヨーロッパと怪物
- 西河内靖泰 国語科表現指導論
- 倉永恭子 核なき未来へ
- 米谷茂則 被爆者の人生を支えたもの

- 小学校学級担任による国語科 授業及び教材研究
- 広島大学院総合科 平和のために戦争を考える
- 松浦正博 パイディア上
- お茶の水女子大学
- 女性リーダー育成のために (株)廣文館 ラジオ基礎英語12各12冊
- ゲーンズ奨学金として
- 広島女学院同窓会 800,000円
- 現物寄附
- 土谷佳弘 ノートパソコン(Mouse computer)
- ノートパソコン(Mouse computer) 超音波ホモニザイザ
- 関谷弘毅 パソコン
- 福田道宏 ノートパソコンVAIO
- 前田美和子 デスクトップパソコン
- 伊藤千尋 ドローンドローン付属品等
- 戸田慧 ノートパソコン
- 野村知未 ノートパソコン(PC)2台
- 国際教養学科のために
- 2018年度国際教養学科卒業生一同 51,953円
- 災害お見舞金として
- 広島県私立中学高等学校協会会長田中清峰 13,422円
- 桜の枝落とし・植栽業務
- 広島女学院大学協力会 367,200円
- 卒園記念として
- 広島女学院ゲーンズ幼稚園2018年度 卒園生一同 243,000円
- 卒園生一同 243,000円
- 大学のため
- 松本滋恵 匿名希望1名 30,000円
- 中高教育充実のため
- お父さんの会 50,000円
- 高19回卒E組石原ホーム 32,000円
- 寺本道生 25,000円
- 畑野喜信 星野晴夫
- 俵倫子 星野ゆり
- 岡崎博美 皆本陽子
- 高見知伸 石田直子
- 小山雅之 20,000円
- 高林真澄 19,100円
- 匿名希望1名 5,000円
- 第69回生卒業生一同 1,383円
- クロムブック(RS171214N) 諏訪瑠璃子 日本書紀文学系1冊計4冊

- 被爆ヴァイオリン借用お礼として
- 東広島青少年オーケストラ運営委員会 10,000円
- 広島女学院のため 匿名希望1名 10,000円
- 幼児教育心理学科のため
- 2018年度幼児教育心理学科卒業生一同 40,000円
- 幼稚園教育発展のため
- 堀敏次 10,000円
- 創立130周年記念募金
- 花輪恒子 2,000,000円
- 角谷安枝 株式会社中電工 1,000,000円
- 松井英治 大矢みどり
- 株式会社紀伊國屋書店
- 広島女学院同窓会広島地区 匿名希望1名 300,000円
- 大野晃靖 250,000円
- 山陽空調工業株式会社
- 広島電鉄株式会社
- つばめ交通株式会社
- 株式会社イクナガ写真場
- 株式会社ニッタマテリアル
- 数原真理子 中村慶子
- 匿名希望4名 100,000円
- 同窓会関東ブロック夏雲の集い参加者有志 65,000円
- 株式会社JTB広島支店
- 中国電設工業株式会社
- 株式会社もみじ銀行
- 馬本美季 秋山妙子
- 竹内香織 今村武彦
- 白井倫子 野坂亮
- 野坂裕理佳 匿名希望2名 50,000円
- 尾花麗子 40,000円
- 2018年度生活デザイン建築学科卒業生一同
- 株式会社富士通マーケティング 株式会社社進研アド
- 株式会社ジッタ中国
- 竹林潤二 山口典子
- 檜山律子 斉藤裕子
- 野坂登喜子 匿名希望2名 30,000円
- 中川珠果 匿名希望2名 21,000円
- 曾我真太郎 佐原弘子
- 渡邊ゆかり 井尻律子
- 中野茜 内田恭子
- 松田由紀恵 宮原甚吉
- 西山宗志 村田早苗
- 石戸美子 匿名希望2名

- 中島弘貴 匿名希望2名 20,000円
- 15,000円
- 2019年HCD参加者有志
- 新田玲子 14,400円
- 広島女学院山口支部第21回東部地区 参加者有志一同 13,000円
- 会参加者有志一同 12,103円
- 畑田敬 12,000円
- 花森睦美 土居和子 11,000円
- 菅江玲子 三和興産株式会社
- 高砂丸誠エン지니어リングサービス株式会社
- 高砂丸誠エン지니어リングサービス株式会社
- 松本雅子 惠島勲
- 井上京子 原田敦司
- 山口洋子 小林早苗
- 高橋知子 金本茂男
- 玉井洋子 井戸清逸
- 岡本英明 仲松勇人
- 奥村ゆかり 池内瑞穂
- 田中文枝 実川久美子
- 亀井美枝 鈴木智子
- 山本智恵美 田上順子
- 貴船美代子 吉岡素子
- 山田正恵 望月操子
- 河野瑞江 平野哲子
- 安部慶子 渡辺滋子
- 長野輝久 児玉浩
- 藤原勢津子 藤原美由起
- 山根寛子 高田郁子
- 鄭采哲 野間武子
- 伊部佳子 吉井久美子
- 野坂悠久子 鈴木都
- 重富照子 岩戸志多
- 山岡友里絵 柴田汀沙乙
- 生長美保子 山本利恵子
- 浦田美智子 加藤節子
- 小篤健一 石下友理
- 松永健一 永井潤子
- 神名哲郎 中森淳
- 福島美江 久都内凌子
- 樋高八重子 田中真樹
- 伊達木優子 三谷信子
- 田部公子 佐藤雅子
- 武田信治 西村信子
- 頼島令子 安田琢児
- 北川真代子 中光純也
- 小野未紀子 篠原純也
- 宮本浩子 多田真規子
- 野崎美穂 竹田順子 井坂明

- 川口和子 津田千寿子
- 樽田とみ子 稗田久子
- 富原喜子 信原宏礼
- 野間昭雄 盛谷喜久満
- 成田由紀子 戸田潤子
- 佐々木美保 廣川和恵
- 角川華子 斎藤昭彦
- 輪田敬子 森田晃司
- 藤田博子 吉田厚子
- 竹中繁雄 吉田恵子
- 清信恵子 シアーズ杏梨
- 山手万知子 木村敬子
- 森川道子 清川努
- 古本友恵 飯田園子
- 田中チカ子 松長園江
- 稲瀬多美 栗田恭子
- 三宅規矩子 徳本豊子
- 石田泰子 世良美和
- 木下由美子 塚脇寿美子
- 下川のみ子 原誠
- 山田正代 正木由紀子
- 小山靖子 小山雅之
- 山本優子 榎本綾
- 横路利江 湯浅てるこ
- 河辺道代 其阿弥成子
- 梅田けい子 永島克彦
- 荒川純太郎 山田百合子
- 山崎光久 福永裕治
- 田村紀子 山田信子
- 繁山晃洋 藤澤敦子
- 山下民子 増田多三江
- 石橋浩子 匿名希望34名 10,000円
- 同窓会チューリップクラブ 9,017円
- 横田美代子 匿名希望8名 8,000円
- 広島女学院同窓会山口支部
- 松井美都子 渡部晴美
- 堀岡共栄 菰川順子
- 和泉美加 横山加代子
- 吉富恵美子 細谷江浪
- 寺奥多恵子 鈴木秀美
- 波藤紀江 石橋浩子
- 山元時枝 畑下佳苗
- 田部聖子 吉田泰子
- 田島典子 松岡陽子
- 青野勝子 栗田智恵子
- 長井弘美 荒井宏子
- 日浦千明 磯村圭子
- 駒澤輝子 阿部方子
- 小林文枝 青木清美
- 匿名希望8名 5,000円

- 鈴木紀子 匿名希望2名 3,000円
- 若松トキ子 若林マシミ
- 中本宣子 山下美枝
- 匿名希望1名 2,000円
- 匿名希望1名 1,000円
- 創立130周年記念募金A
- 匿名希望2名 10,000円
- 創立130周年記念募金B
- 森脇福子 50,000円
- 竹本明範 竹本香代子
- 宮下諭 匿名希望1名 10,000円
- 2019年4月発行
- 創立130周年報告未掲載分
- 2019年4月発行の創立130周年記念募金(中間報告書)において寄付者ご芳名に記載漏れがございました。
- 深謝いたしますとともに以下に再掲させていただきます。
- 寺河内純子 中川章
- 中村紀子 西尾操
- 西河内靖泰 林惠理子
- 林佳世子 福原恭子
- 藤岡倫子 藤川浩子
- 藤川昭代 古重歌織
- 法貴礼子 宮武宏和
- 村上郁子 森長京子
- 森永裕子 山口真司
- 山崎麻由美 匿名希望者13名 50,000円

- 気持のいい秋風が吹き渡るころとなり、紅葉だよりに旅心をさそわれます。さて、10月1日には本学院が創立133周年を迎えました。栄えある学院を指し、皆様とともに微力ながら尽力してまいります。(法人事務局総務課 田村直也)

編集後記

お詫びと訂正

第187号3頁の退職者のことばに掲載しました「板橋文絵 様」は誤りであり、正しくは「坂橋文絵 様」です。お詫びして訂正させていただきます。



2020年度 学生・生徒



・園児 募集要項



大 学

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話:082-228-0386(代) FAX:082-228-7815



◆募集人員

- 人文学部 ●国際英語学科(GSE*コース・英語文化コース) 65名
●日本文化学科 40名
- 人間生活学部 ●生活デザイン学科 65名
[生活プロデュース/被服・ファッションデザイン
インテリア・住居・建築デザイン/地域デザイン]
- 管理栄養学科 70名
- 児童教育学科[幼児教育コース・児童教育コース] 90名

*GSE=Global Studies in English

◆募集人員

(2019年11月実施以降の入試日程)

入試区分	対象学科	出願期間		試験日	合格発表日	試験会場
		インターネット 出願期間	出願書類提出 締切			
指定校制推薦入試	全学部 全学科	2019年10月21日(月) ~11月2日(土)★		2019年 11月9日(土)	2019年 11月15日(金)	本学
公募制推薦入試 A・B方式(専願) C方式(併願) 特選方式(専願・児童 教育学科のみ)	全学部 全学科 (ただし、 児童教育学科 「特選方式」は 第1回のみ実施)	第1回 2019年10月21日(月) ~11月5日(火)★	ホ ー ム ペ ー ジ ・ 入 試 ガ イ ド 参 照	第1回 2019年 11月10日(日)	第1回 2019年 11月15日(金)	第1回 本学・福山・周南・ 松江・松山(ただし 学科、方式による)
		第2回 2019年11月20日(水) ~12月2日(月)★		第2回 2019年 12月7日(土)	第2回 2019年 12月13日(金)	第2回 本学
特待生入試	全学部 全学科	2020年1月6日(月) ~1月23日(木)★		2020年 1月30日(木)	2020年 2月13日(木)	一般前期 A日程と同じ
一般入試 (前期日程) A日程 B日程 C日程	全学部 全学科	2020年1月6日(月) ~1月23日(木)★	A 日 程 2020年1月30日(木) B 日 程 2020年1月31日(金) C 日 程 2020年2月2日(日)	A日程 2020年1月30日(木)	2020年 2月13日(木)	A日程 本学・福山・周南・ 岡山・松江・松山・ 福岡・那覇 B日程 本学・福山・周南 C日程 本学
				B日程 2020年1月31日(金)	2020年 3月7日(土)	本学
				C日程 2020年2月2日(日)	2020年 2月13日(木)	—
一般入試 (後期日程)	全学部 全学科	2020年2月14日(金) ~2月28日(金)★		2020年 3月4日(水)	2020年 3月7日(土)	本学
※ 大学入試 センター試験 利用入試(A日程)	全学部 全学科	2020年1月6日(月) ~1月27日(月)★		大学入試 センター試験 2020年 1月18日(土)・19日(日) (本学独自の試験は ありません。)	2020年 2月13日(木)	—
大学入試 センター試験 利用入試(B日程)	全学部 全学科	2020年2月14日(金) ~2月28日(金)★		2020年 3月7日(土)	2020年 3月7日(土)	—
大学入試 センター試験 利用入試(C日程)	全学部 全学科	2020年3月9日(月) ~3月18日(水)★		2020年 3月20日(金)	2020年 3月20日(金)	—

★インターネット出願登録は、最終日午前11:00まで。
 ○全入試インターネット出願となります。(特別入試、編・転入試など一部異なります。)
 ○試験科目など詳細は、入試ガイドまたはホームページにてご確認ください。
 ○指定校制推薦入試に関しては、在学されている高等学校へお問い合わせください。
 ○社会人・帰国生徒・外国人留学生特別入試、および転入試、編入試も実施します。(学科による)
 ※大学入試センター試験利用入試A日程では、成績優秀者に授業料優遇制度があります。(授業料20%減免)

大 学 院

言語文化研究科<修士課程>
人間生活学研究科<修士課程>

◆募集人員(男女共学) <社会人・外国人留学生可、定員は春季・秋季計>

言語文化研究科*1	人間生活学研究科*1
日本語文化専攻 修士課程/6名	生活文化専攻 修士課程/6名
英米言語文化専攻 修士課程/6名	生活科学専攻 修士課程/6名

*1 出願前に審査が必要な場合があります。

◆春季入試日程

出願期間:2020年2月14日(金)~2月21日(金)郵送必着
試験日:2020年3月3日(火) 合格発表日:2020年3月7日(土)

【資料請求】広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)
URL▶https://www.hju.ac.jp/ E-mail▶nyushi@gaines.hju.ac.jp

中 学 校

〒730-0014 広島市中区上幟町11-32
電話:082-228-4131 FAX:082-227-5376



キ
リ
ス
ト
教
精
神
に
基
づ
い
た
教
育
を
目
指
し
て

◆募集人員/200名(5学級)

◆応募資格/2020年3月 小学校卒業見込みの女子。
出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は他の手続きあり。
詳細は「2020年度生徒募集要項」を参照のこと。

◆出願期間/2019年12月9日(月)より2020年1月6日(月)

◆出願方法/本校HPより出願の手続きを行い、期日までに必要書類を郵送のこと。

◆試験期日/2020年1月20日(月)

◆選考の方法/(1)筆記試験
(2)提出書類の審査
(3)面接による審査

◆合格発表/2020年1月21日(火)

◆願書請求/本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

幼 稚 園

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話:082-228-6635 FAX:082-224-3141

◆募集人員/3歳児 65名
4歳児 若干名

◆願書受付/2019年10月1日(火) 本年度は終了しました。

◆入園面接/2019年10月16日(水)

◆入園手続/2019年10月21日(月)

